

登録コード	L1120200	開講年度	2026				
担当教員	護山 真也 他			副担当	早坂 俊廣		
授業科目	哲学・思想論概論						
英文授業名	Introduction to Philosophy						
授業タイトル	哲学・思想論概論						
単位数	2	対象学生		講義期間	後期	曜日・時限	月曜・4時限
講義室	人文第4講義室		遠隔授業科目		読替科目	読替科目は履修案内を確認すること	
信大コンピテンシー	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			【授業の達成目標】			
	2022Lカリ, 2021Lカリ, 2020Lカリ						
	【2022年度以前が対象】自明とされる事柄に対し、深くその根拠を問い直し新たな認識を構築できる思索力			インド哲学・仏教学・中国思想に関して、高校倫理までの学習で自明とされた事柄に対して、最新の研究成果等を踏まえて自らの思索を行うことができるようになる。			
	2026Lカリ, 2025Lカリ, 2024Lカリ, 2023Lカリ						
	【2023年度以降が対象】人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力が身についている。【思索力・受容力・批判力】			インド哲学・仏教学・中国思想に関して、高校倫理までの学習で自明とされた事柄に対して、最新の研究成果等を踏まえて自らの思索を行うことができるようになる。			
授業で学べる「テーマ」	多文化協働						
全学横断特別教育プログラム							
授業の概要	前半はインド哲学・仏教哲学から、後半は中国哲学・日本哲学から、「自己」「言葉」「心」というテーマをめぐる代表的な考え方を取り上げます。原則として、入門・概説レベルの内容が講義形式で紹介されます。これにより、【授業のねらい】1.と2.を実現します。前半1回、後半1回のレポートが課されますので、それに取り組むことで【授業のねらい】3.も目指します。						
授業計画	第1回：イントロダクション - 「東洋哲学」をめぐるあれこれ（護山、早坂） 第2回：真実の自己を探して - ウパニシャッド哲学（護山） 第3回：真実の自己はない - ブッダの人間観（護山） 第4回：それでも自己が必要なわけ - 『ミリンダ王の問い』と人格の同一性の問題（護山） 第5回：空は無ではない - 『般若心経』の世界（護山） 第6回：言葉をを超えて - ナーガールジュナの空思想（護山） 第7回：心の謎 - 唯識の哲学（護山） 第8回：信仰と論理 - 仏教論理学(30分) 試験（60分）（護山） 第9回：「克己復礼」～孔子とは一体だれのことか？～（早坂） 第10回：「性善」と「性悪」～孟子と荀子の人間観～（早坂） 第11回：「本来無一物」～老荘思想と禅仏教～（早坂） 第12回：「八条目」～朱子学と陽明学 その1～（早坂） 第13回：「性即理」と「心即理」～朱子学と陽明学 その2～（早坂） 第14回：海を渡った日中の宗教人・知識人（早坂） 第15回：江戸思想史再考・授業アンケート（早坂）						
成績評価の方法	前半・後半二回のレポートで成績評価を行います。						
成績評価の基準	前半レポートと後半のレポートの結果をあわせて、最終的な成績を決定します。また、成績評価の基準は以下の通りです。 成績評価の対象となる各項目について、(i) 熱心な態度と明確な貢献が際立っており、建設的かつ説得的な内容を備えた報告が提出されていれば「卓越している」。(ii) 熱心な態度と十分な貢献が認められ、適切かつ整合的な内容を備えた報告が提出されていれば「かなり上にある」。(iii) 真摯な態度とある程度の貢献が認められ、十分に妥当な内容を備えた報告が提出されていれば「やや上にある」。(iv) 妥当な態度とある程度の貢献が認められ、瑕疵のないまとめと論理性を備えた報告が提出されていれば「水準にある」。						
事前事後学習の内容	毎回の講義に対して、事前・事後に各自で配布プリントを見直し、必要に応じて、図書館で関連する文献にあたってもらいます。その積み重ねがなければ、レポート作成は困難です。						
履修上の注意	このシラバスをしっかりと読んでから履修してください。また、eALPSの内容をそのつど確認し、そこの指示に従って学修を進めてください。						
質問、相談への対応	メールで対応します。 護山：smoriyam@shinshu-u.ac.jp 早坂：hayask@shinshu-u.ac.jp						
教科書	授業中にプリントを配布します。あるいは、eALPS上にPDF資料を掲載します。						

参考書	赤松明彦『インド哲学10講』（岩波新書） 桂紹隆監修『インド哲学の万華鏡』（春秋社） 竹村牧男『入門 哲学としての仏教』（講談社現代新書） 魚川祐司『仏教思想のゼロポイント』（新潮社） 横山紘一『唯識の思想』（講談社学術文庫） 桂紹隆『インド人の論理学』（法蔵館文庫） 護山真也『仏教哲学序説』（ぶねうま舎） 中島隆博『中国哲学史』（中公新書） 湯浅邦弘 編『中国思想基本用語集』（ミネルヴァ書房） 田尻祐一郎『江戸の思想史』（中公新書）
-----	--